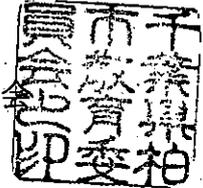


柏教政第309号
令和5年11月22日

柏市教育政策審議会

会長 天 笠 茂 様

柏市教育委員



「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」の策定について（諮問）

柏市立学校におけるより良い教育環境と教育の質の向上を目指し、「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」（以下、「基本方針」という。）の策定について諮問します。

記

1 背景

(1) 学校現場が抱える様々な教育課題

- ア 学校に通うことができない又は通いづらさを感じてしまう児童生徒が著しく増加しています
- イ 小学校から中学校への進学に際して、学習面、友人関係、部活動など新しい環境下での生活にうまく適応できないことにより、不登校等として表面化する、いわゆる「中1ギャップ」が発生しています
- ウ 全国的に教員数が不足する中、教員の若年化が進み学校組織としての対応力に課題が生じています
- エ 児童生徒一人ひとりの特性に合わせて指導を行う特別支援学級児童生徒が増加し、施設整備及び学校運営面で課題が生じています
- オ 社会の形成者として身につけることが望ましい基礎的学力の習得を促進する必要があります

カ 夏場の猛暑等，気象状況が変化する中，通学に際し長距離の移動を強いられる児童生徒がいます

キ 学校施設は，昭和 40 年代から 50 年代にかけて整備されたものが多く，建築から 30 年以上が経過した建物が全体の 8 割を超えており老朽化が進行しています

ク その他，グローバル化や I C T 環境の充実等，目まぐるしい速度で変化する現在の状況を踏まえた学校教育が求められています

(2) 将来にわたる児童生徒数の減少見込み

少子高齢化社会を迎え，本市における児童生徒の総数は将来にわたり減少することが見込まれ，それに伴い一定の集団規模を確保することが困難な小規模な学校の増加が見込まれます。

一方で市内には，鉄道沿線駅周辺の住宅開発等の影響により，児童生徒数が増加傾向にあり今後，必要な教室数が不足することが見込まれる学校もあり，地域により学校規模の不均衡が拡大することが懸念されます。

2 諮問理由

1 に記載された学校現場を取り巻く多種多様な課題の解消及び緩和に向けて，市立小学校，中学校，高等学校の将来におけるあり方について，「誰一人取り残さずに多様な個人のウェルビーイングを実現する学校づくり」を進める必要があります。

そのため，基本方針では，地域及び学校ごとに，児童生徒数の推計，学校施設の整備状況，通学距離等の現状を整理し「見える化」しつつ，様々な教育課題の解消に資する対応の方向性を盛り込むことで，将来にわたり学校を管理及び運営する上での羅針盤とします。

以上のことから，柏市教育委員会は，貴審議会に対し，より良い教育環境の確保と教育の質の向上を図るため，基本方針の策定について諮問します。

3 基本方針を策定する期日

令和 7 年 3 月 3 1 日